

学術論文を探す方法としては、かつては図書館で調べることが主流であったが、現在はネット検索を用いる人が圧倒的に多いと思われる。しかし、ネット上には種々雑多な文書が溢れており、ネット検索で見つかった文書が Journal なのか Proceedings なのか、あるいはただの report なのかを判断することは初心者にとっては容易でないと思われる。そこで、まず Journal や Proceedings がどのようなものであるかを説明し、論文・文献購読にふさわしい文書をスムーズに見つけられるようにすることがこの文書の目的である。

- 学術論文(Journal)：いわゆる論文。査読を経て学術雑誌（論文誌）に掲載が許可 (accept)され出版されたものを指す。Nature, Science, IEEE Journals, ACM Journals, Elsevier Journals など、主要な英文論文誌は Web of Science(WoS)に登録されている。したがって、英文の学術論文をウェブから確実に手に入れる方法は、WoS に登録されている論文誌のサイト上から直接、キーワード等を用いた検索によって探すことである。

なお、論文にも以下のような種類があるため、文献購読ではどの種類の論文であるのかも意識する必要がある（以下に挙げているページ数は論文誌により異なるので注意）：

- Regular Paper：一般の論文。10 ページ以上のものが多い
- Short Paper：速報性を重視した論文。4～8 ページのものが多い
- Survey Paper：特定の分野や技術を網羅するために書かれた論文。参考文献の数が多くのが特徴

主典情報は著者名、タイトル、論文誌名、号、巻、ページ番号、出版年、doi (digital object identifier)を明記する（下記の例では色で対応付けしている）

例) Winston, Patrick Henry (2016). “Marvin L. Minsky (1927-2016)”. Nature (Springer Nature) 530 (7590): 282–282. doi:10.1038/530282a

- Proceedings: 国際会議での会議録であり、論文誌よりも速報性が高く、最新の研究動向を把握するのに有用である。ただし、国際会議といってもピンからキリまであり、論文・文献購読で Proceedings を用いる場合には、査読付きの Top conference のものから選定することが望ましい。Top conference とは以下のランキングでおおよそ上位 15%ぐらいに入っている会議を指す（厳密な定義はないし、このランキングはあくまで目安であって、自身の研究に重要な内容のものであればランキングとは関係なく読むべし）。Proceedings を用いる場合には、指導教員とよく相談し、文献購読にふさわしいものであり、かつ自分の研究に役立つ文献であることをよく確認すること。

<https://aminer.org/ranks/conf>

主典情報は著者名、タイトル、会議名、出版年、もし号、巻、ページ番号、doi が

付してあれば明記する（下記の例では色で対応付けしている）

例) Viola and Jones (2001). ``Rapid object detection using a boosted cascade of simple features". Proc. of Computer Vision and Pattern Recognition

（電子配布のため、ページや号、巻などが付されていない場合がある）

なお、Proceedings を発展させたものを論文誌に投稿することは頻繁に行われるため、選んだ Proceedings が Journal に掲載されていないか、著者のページなどをチェックして確認し、もし論文化されているのであれば論文を選ぶこと。

- その他の文書（論文・文献購読では選定しないこと）
 - Technical Report：組織内や補助金の拠出先への研究報告書。掲載論文誌名や会議名がなく、タイトルや脚注に technical report である旨が記述されていることが多い。
 - Bulletin (紀要)：研究所や博物館が定期的に発行する学術雑誌。査読があるものやないものが混在している。権威ある紀要（米国アカデミー紀要）もあるが、工学の分野では業績と見なせる紀要はほとんどない。
 - arXiv: 研究者間の情報交換を目的としたプレプリントサーバー（にアップロードされている文書）。出版前の論文や、査読中の論文、単なる意見など、玉石混合の文書を閲覧できる。一般の検索エンジンで文献を探すと多くの arXiv 上の文書がヒットするが、その文書が査読を経ているかどうかは保証されていない。したがって、興味を引くものがヒットした場合、それが Journal で出版されている、あるいは国際会議で accept されているかどうかを確認し、もし該当する場合であれば arXiv 上の文書ではなく原典を選定すること。査読中や単に著者が意見交換のためにアップロードした文書は文献購読に用いてはいけない。
- ※ 玉石混合であるが、本当に宝石のような文書もある。ポアンカレ予想の証明は arXiv で公開され、投稿者にフィールズ賞が贈られた（辞退されたが）。
- ※ arXiv は影響力があるため、単なるプレプリントサーバーというのは正しくないかもしれない。例えば arXiv に関して以下のような考察もある。

<http://lis.msllis.jp/pdf/LIS061025.pdf>